

アま市議会議報



<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>



市民ラジオ体操の集い（7月20日 七宝焼アートヴィレッジにて）

6月定例会のあらまし	2ページ
市議会議員の定数を定める条例	3ページ
一般会計補正予算	4ページ
市政を問う(13議員が一般質問)	7ページ
審議結果一覧	15ページ

6月定例会のあらまし

市議会議員の定数条例を可決

議員定数 26人 → 24人に

6月定例会は、6月2日から6月24日まで開かれました。

市長から税条例等の改正、一般会計補正予算など5件が提案され、すべて原案のとおり可決しました。

また、議員より市議会議員の定数を24人とする条例案が提出され、採決の結果、賛成多数で可決しました。次回の一般選挙から施行されます。

そのほか、請願2件と陳情1件を審議し、2件を採択、1件を継続審査と決定し、最終日に提出された議員発議の意見書を可決し、23日間の会期を閉じました。

合

併前の3町の協議により、在任特例終了後の市議会議員定数は、26人と定められていたものが、今回可決された定数条例により、次回の一般選挙（任期満了による場合は、平成27年4月）から24人となります。（3ページに掲載しています。）

税

条例等の一部が改正されました。主な改正内容は、軽自動車税の引き上げや経年車に対する重課税率の導入などです。

市

長の報告では、25年度一般会計予算の繰越明許や病院事業会計予算の繰越などが報告されました。

国

を5万円上乗せするものを5万円上乗せするものです。健康保険税条例の一部が改正されました。主な改正内容は、軽減基準額の引き上げにより、5割軽減、2割軽減の対象者を拡大します。

一

一般会計の補正予算を可決しました。2億1657万3千円を追加し、255億4957万3千円としました。追加され

消

防団員の退職報償金支給条例の一部が改正されました。非常勤消防団員として、5年以上勤務して退職した者に支給される退職報償金の額

一

一般質問は、6月10日に行われました。26人の議員のうち、13人が登壇市の行政全般について多岐にわたって質問が出されました。（質問の内容は7ページから13ページに掲載しています。）

市議会議員の定数を定める条例

今回の一般選挙から、市議会議員の定数を24人とする条例案が議員発議により提案、可決、制定されました。

これまででは、合併前の3町の協議により、議員定数は26人となっていました。2人削減することになりました。

主な質疑

問 2人減とした理由は、石田良雄 他市の状況から見て、2人減では削減数が足りないと思うが、

次期に対する足がかりとして、現職である我々が姿勢を示すという考えから2人の削減に至った。

問 特別委員会などを設けて議論すべきではないか。

加藤正 議会運営委員会

討論(要旨)

で、特別委員会の設置などを提案してきたが、時期尚早という意見が出て、決まらなかった。

【反対討論】

岩本一三 合併の住民説明会資料には、合併の効果として、議会議員の削減により10年間で6億円の効果があると明記されていた。2人減では市民との約束を果たせない。

野中幸夫 議会の役割は市民の声を届けること、市政をチエックすること、市民の苦しみの解決に働くことだと考えている。議員定数を必要以上に減

らすと、議会の役割が弱まってしまう。

東日本大震災のような大規模災害もこの地域で想定されており、災害のときこそ地方自治が試されるものであり、議員定数を減らすことは、こうした方向からもかけ離れるものであり、反対する。

八島進 これだけ大きな問題を、自派あるいは仲間

の議員だけで遂行するということは、民主主義への挑戦だと考える。改革するならば、もっと大胆にするべきと考え、2名の削減に対しては反対する。

【賛成討論】

柏原功 議員定数について市民に意見を聞いたが、ほとんどの方が削減すべきという意見であった。近隣の市を見ても、あま市を取り巻く全ての市で定数を削減している。

あま市の議員のうち、17人が定数削減を約束して当選している。削減数にはいろいろな意見があるが、2人削減することで、市民の理解が得られると考え、賛成する。

花木敏行 何人の議員が妥当かという根拠はない反面、26人を維持しなければ、市民の負託に応えられないという根拠もない。

類似団体の議員1人当たりの有権者数は、あま市の議員定数を24人とした場合よりも多いが、これらの団体で民意が反映されていないとの意見や、

議会のチエック機能が働いていないとの声はないと聞いている。

今回の削減は、自らが厳しい選択をし、資質向上に努めれば、議員の役割を十二分に発揮でき、次のステップに進むことも可能と考え、賛成する。

伊藤嘉規 合併協議会の議員定数等検討委員会、

また、特別職報酬等審議会において、議員自らの定数削減に期待する意見、削減を検討すべきという意見をいただいた。決して満足な数字だと思っていないが、議員が率先して身を切る姿勢を示すことが必要との考えから2人削減するものであり、賛成する。

採決結果

賛成多数により、原案のとおり可決。

一般会計補正予算

地域公共交通試行運行事業費
 予防接種事業費
 児童遊園費
 街路整備費（名古屋津島線）

2387万2千円
 1805万8千円
 1200万円
 6614万2千円 など

平成26年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億1657万3千円を追加し、総額を255億4957万3千円とするもので、賛成多数により原案のとおり可決されました。

主な質疑

地域公共交通試行運行事業

問 ルートは。
企画政策課長 甚目寺地区を走る東部巡回ルートと、美和地区と七宝地区を巡回する西部巡回ルートを考えている。

問 車両数は。
企画政策課長 東部に1台、西部に2台、予備車両1台を考えている。

問 車両の種類は。
企画政策課長 マイクロバスを考えている。

問 運賃は。
企画政策課長 大人200円、子供100円、75歳以上と障がい者などは無料と考えている。

問 運行事業者の選定は。
企画財政部長 事業者が企画を提案するプロポーザル方式を予定している。

社会保障・税番号制度

問 事業の効果は。
企画財政部長 社会保障の給付と税の負担の公平化、国民の利便性の向上ならびに行政の効率化などが図られる。

問 今後のスケジュールは。
企画財政部長 平成27年10月より個人番号の付番通知を行い、平成28年1月より個人番号カードの発行を行う予定である。

給食センター

問 新学校給食センター検討の背景と事業内容は。
教育部長 現在の3つの学校給食センターは、建築後35年以上経過し、施設、設備が老朽化している。新学校給食センターを建設する候補地として、美和プール跡地を候補地として考えている。

事業の内容は、ボーリング調査を行う地質調査委託と、事業の進め方の検討を行う調査業務委託を考えている。

休止中の美和プール



ファミリーサ ポートセン ター事業

問 合同実施は、経費の削減が主な目的か。
子育て支援課長 経費削減の面もあるが、両市町の会員が他の市町の会員の援助を利用できるなど、利便性が向上する。

問 大治町の負担金の算出根拠は。

子育て支援課長 委託費の2分の1を均等割、残りの2分の1を人口割で算出した。

児童クラブ

問 何人の拡充か。

福祉部長 甚目寺西児童クラブを15人、甚目寺南児童クラブを25人増やす。

インフルエン ザ予防接種費 用助成

問 対象者は。

健康推進課長 満1歳から中学3年生相当の年齢までが対象。

問 小学生までは、2回接種だが。

健康推進課長 小学6年生までは、2回の接種について10000円ずつの助成を行う。

健康マイレ ージ事業

問 あま市のメニューは。

健康推進課長 がん検診や特定健診、自主的に参加するウォーキング、生活習慣病に関する取り組みなどにポイントをつける方向で考えている。

街路整備事業

問 事業の内容は。

都市計画課長 県が行う名古屋津島線バイパス事業に伴う、市道の取りつけ部分の事業費。用地費と物件補償費があり、面積は二カ所で約200平方メートルになる。

問 買収した土地が塩漬けになるのでは。

建設産業部長 可能性はあるが、県の買収に付随して市が行う形になっているので、収用の控除の関係で同時に買収しなければならぬ。

県には、なるべく早く道路をつくるよう再三申し出ており、塩漬け期間を少しでも短くしたい。

児童遊園

問 整備は何カ所予定しているか。

福祉部長 53カ所の児童遊園、ちびっ子広場で行う。

問 利用されていない児童遊園も整備を行うのか。

福祉部長 利用者が少ないところも事故が起こらないよう整備する。

討論(要旨)

【反対討論】

野中幸夫 社会保障・税番号制度は、個人番号カードを交付するが、個人情報流出とプライバシー侵害の危険が高くなり、また、なりすましによって不正使用される可能性がある。

【賛成討論】

後藤幸正 地域公共交通試行運行事業費は、試行運行とはいえ、実行に向けた予算であり、大いに期待できる。
市民活動センター事業費は、市民活動に対する支援、地域の特徴を生かした活力ある住みよい社

会づくりへの取り組みが効果的に表れている。

健康マイレージ事業などは、市民の健康づくりの啓発に寄与できる。

ファミリーサポートセンターを大治町と合同実施することにより、行政の垣根を超えた、利用者の利便性を考えた施策と期待している。

今回の補正予算は、第1次あま市総合計画を推進し、市長が掲げる力強く、健やかな勇健都市「あま」を、市民の総力で実現することを目指した予算であると評価し、賛成する。

採決結果

賛成多数により、原案のとおり可決。

議長の不信任決議を賛成少数で否決

6月19日、横井敏夫議長の不信任決議が提出されました。6月24日の本会議で当事者である横井敏夫議長が議場から退場し、質疑、討論の後、採決が行われ、賛成10、反対14の賛成少数で否決しました。

決議案

議長の権限の中には、議場の秩序保持権がある。いわゆる、議場を混乱させることなく議事を円滑に運営するよう配慮することが議長の職責である。

しかるに横井敏夫議長には、上記の様な資質があまりにも欠如している。よってここに、横井敏夫議長の不信任決議を提出するものである。
あま市議会議員

松下昭憲
八島 進
横井正秀
松浦茂昌
水谷康治
新聞賢治

主な質疑

問 これまでに、議事が円滑に運営されなかったことはあるか。

松下昭憲 今回が初めてではあるが、大変重要なことである。

問 議場外での議事整理まで求めるものなのか。
松下昭憲 議長職は、本会議だけでなく、一般的な議会のまとめ役である。

討論(要旨)

【反対討論】

藤井定彦 あま市議会は会派制をとっており、横井議長は各派代表での話し合いの場を設けて、よりよい議会をつくれるよう努力した。

自分の意見に沿ったものでなければ、他の議員まで同調させ、何回も議長不信任決議を出すような事態が二度と起こらないよう切に願ひ、反対する。

加藤正 議長は就任後、円滑な議会運営に心がけ、議員各位が持てる力を十分に発揮できるように配慮し、市の発展と市民の

福祉向上のために誠心誠意職務を遂行している。本来議長の責務は、提出された議案を中立かつ公平な立場で判断し、民主的に議会運営を行うものであり、今回のケースも同様に行われたものと判断し、反対する。

石田良雄 議長は議会の活性化を図るため、議員の協議体をつくることを何度も提案している。

会派制度をとっているあま市議会において、発議に対する議員間の調整は、各会派間で行うべきであり、議長に調整を委ねるものではない。議長職の中立性と尊厳を保つためにも、議長にそのような行為を求めることは、議長の地位をないがしろにすると考え、反対する。

【賛成討論】

野中幸夫 議員定数の削減は、議会に関する問題であるので、全員協議会を開催する必要がある。冒頭で、議長に全員協議会の開催を提案したが、否定された。

今回の対応は、議会の地位を低めてしまうものであり、不信任に相当すると考え、賛成する。

八島進 議員定数の削減案に対し、全員協議会を開催せず、他の議員を無視するような行為は、数の力によって議会が運営されていく恐れがある。今回の結果は、議長の調整資質が問われる。今後の議会のことも含め、賛成する。

採決結果

賛成少数により、原案否決。

市政を問う

13 議員が質問



加藤 哲生 議員

問 ろうあ者との手話での対話を各庁舎でどのように行っているか。手話で対話できる職員は、どれだけいるのか。
企画財政部長 現在、あ

企画財政部長 窓口での職員の接遇意識は大切である。研修などを通じて、職員の手話に対する理解や意識を高める。市民の立場に立って行動する。普口意識を持った職員の育

問 近い将来、手話は言

成と、親切で温かみのある窓口対応に努めたい。
問 全国で広がっている手話言語条例の制定推進の考えはあるか。
福祉部長 手話がろうあ者の言語と理解し、広く普及させていかなければならないと認識している。県内の市町村は、まだ条例制定に至っていない。あま市としても、現段階においては条例制定を考



手話言語条例について

ま市の職員で手話ができる者は在籍していない。ろうあ者へは、筆談による窓口対応を行っている。
問 今後の手話通訳の取り組みは。

加藤 哲生 議員(7 ページ)

1. 手話言語条例について

野中 幸夫 議員(8 ページ)

1. 宅地開発等に関する指導要綱について

足立 詔子 議員(8 ページ)

1. 避難所対策について

橋口 紀義 議員(9 ページ)

1. 循環型社会形成への取り組みについて

寺本 隆男 議員(9 ページ)

1. ゾーン 30 の積極的な導入を

後藤 幸正 議員(10 ページ)

1. 市内道路の渋滞対策及び安全対策について

水谷 康治 議員(10 ページ)

1. 雨水対策について

櫻井 信夫 議員(11 ページ)

1. 新あま市民病院の事業計画について

八島 進 議員(11 ページ)

1. 新庁舎建設について

松下 昭憲 議員(12 ページ)

1. 新庁舎建設について

柏原 功 議員(12 ページ)

1. あま市の空き家対策について

林 正彦 議員(13 ページ)

1. 市民の健康増進について

石田 良雄 議員(13 ページ)

1. 下萱津の藤、河川敷について



宅地開発等に関する指導要綱について



野中 幸夫 議員

問 あま市宅地開発等に関する指導要綱では、中高層住宅で7階以上または50戸以上のものは、事業者は近隣住民に説明会を開催し、内容を事業計画書に添付するとなつて

いるが。
建設産業部長 説明会を含め、誠意をもって対応するよう指導している。
問 8階建てのマンション建設で、住民から相談があった。住民に対する説明は一軒一軒に行っているから、それを事業計画書に添付すればいいことになっていると事業者は言っているが。
建設産業部長 個別説明も説明会に準ずると判断した。

問 マンションは、住民の住宅と4、5メートルしか離れていない。重機が朝8時過ぎから午後5時過ぎまで相当な勢いで工事をしている。住民には大変な苦痛である。
説明会が開催され、合意が図られなければ、まちづくりは進まないのではないか。
中高層住宅は、日照権、電波障害、風害が近隣住民に今後の課題として残る。

指導要綱が徹底されていないのは、市側の怠慢である。説明会を明記した条例を制定していくべきではないか。
建設産業部長 条例については、今後とも研究をさせていたたく。

避難所対策について



足立 詔子 議員

問 避難所運営は計画に基づいて迅速に行われるが、次の点について問う。
①緊急時の避難所の解錠の管理および鍵管理の補助装置の導入について。

②避難所に施設の設置場所などが記載されている案内図などを設置しては。
総務部長 ①避難予定施設の管理者は、二次被害を防ぐため目視などにより安全を確認後、災害対策本部の指示で避難所を開設する。
鍵管理の補助装置は、設定震度を感じし、備えつけの鍵箱が自動的に開き、必要な鍵を取り出し

て解錠するものである。現在、一部の施設管理部署では検討を進めている。
②必要な想定案内図面は事前に用意する必要がある、今後研究していく。
問 鍵管理の補助装置は、どの施設に設置を検討しているのか。
教育部長 市内の17の小学校に設置ができるようになりたい。

準備を進めている。
問 今後の避難所対策について。
市長 避難所の管理については、災害が起きたときに学校の避難所が解錠できるような鍵管理の補助装置を導入したいと考えている。今後、市民への周知徹底、導入するに当たつてのプラス面、マイナス面を研究していく。



美和中学校



寺本 隆男 議員

問 ゾーン30とは、**建設産業部長** ゾーンを定めて時速30キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、

建設産業部長 生活道路は、幹線道路に比べて交通事故の減り方が少なく、交通事故死傷者全体に占める歩行者の死傷者や自転車乗車中の死傷者の割合が高いことから、生活

建設産業部長 旧甚目寺

ゾーン30の積極的な導入を

ゾーン内における速度抑制や抜け道として通行する行為の抑制などを図る生活道路対策のこと。
問 生活道路対策の必要性は。
建設産業部長 生活道路

道路の安全対策が必要となつている。
問 ゾーン30における対策内容は。
建設産業部長 ゾーン内の走行速度の抑制と抜け道通行の抑制や排除のため、ゾーン内の道路全てに30キロの速度区域規制を適用するとともに、ゾーン入り口に標識設置や路面標示をする。

町時代に甚目寺観音周辺のあんしん歩行エリアの指定を受けた区域を、平成24年7月に、津島警察署よりゾーン30として指定したいという打診があった。
問 ゾーン30が今後拡大していく可能性は。
建設産業部長 地域住民との理解に努め、速度抑制対策が実施できるところがあれば、津島警察署と協議を進めていく。



ゾーン30区域を示す道路標示

小型家電リサイクル法の対象品目である携帯電話



循環型社会形成への取り組みについて



橋口 紀義 議員

問 平成24年6月に循環型社会形成推進基本法が改正された。地方公共団体の責務として、循環資源が適正に利用、処分されることを確保するため必要な措置を実施する

ほか、条件に応じた施策を策定し、実施する責務を有するとある。
平成25年4月から始まった小型家電リサイクル法に対する回収は、どのような体制で取り組むのか。
市民生活部長 回収実施に向け、効果的、効率的に実施できるよう検討している。
問 単独浄化槽から合併浄化槽への切り替えは、年金生活をしている高齢

世帯にとって負担が大きい。転用を考えている人から補助を求める声があるが、補助制度はお願いできないか。
市民生活部長 市内全域に下水道事業計画があるので、補助制度は設けていない。
問 公園や駅前広場などのトイレに循環型を設置している自治体も多いが、あま市は設置を考えているか。
都市計画課長 現在は下

水道の活用を考えている。循環型トイレについては、今後、研究していく。
問 川や用悪水路に「EM活性液」を流して、水をきれいにする取り組みをしている市町村がある。あま市も取り組みを実施してはどうか。
市民生活部長 実施している市町村の実例を参考に、調査・研究する。



市内道路の渋滞対策及び安全対策について



後藤 幸正 議員

問 慢性的な交通渋滞を起すエリアを把握しているか。解消に向けての対策は、危険箇所を知らせるカラー舗装など考えているか。

建設産業部長 愛知県の交通渋滞対策推進協議会において、県内の渋滞箇所を公表している。あま市内では、県道名古屋津島線、国道302号線の区間。箇所としては、丹波交差点、県道須成七宝稲沢線沖之島踏切となっている。渋滞解消に向けて、国道302号の4車線化、交差点の改良事業など、順次改修してもらうよう関係機関に要望をしている。

問 危険箇所については、通学路の緊急合同点検や、市民の声を聴いて危険箇所の把握に努めている。対策としては、カラー舗装、防護柵、街路灯、交差点マーク、反射鏡などを設置している。

建設産業部長 名古屋津島バイパスは、県が一番重要な事業として取り組んでいる。保育園などの道路横断の安全確保は、必要な箇所から重点的に進めたい。

雨水対策について



水谷 康治 議員

問 全国的に毎年、雨による災害が発生している。今月も三重県で短期間に1カ月分以上の雨が降り、あま市でも大変心配される。昨年の9月議会で水

田の転用面積を伺ったが、平成25年度の転用面積は何ヘクタールか。
建設産業部長 平成25年度の転用面積は、市街化調整区域内は2・08ヘクタール、市街化区域内は4・84ヘクタール、全体で6・92ヘクタール。
問 水路整備の進捗状況と、二級河川の進捗状況は。
建設産業部長 排水区域

ごとに地元と調整し、計画的に整備を実施している。二級河川の進捗状況は、蟹江川、福田川、小切戸川の護岸整備工事を、愛知県において順次進めている。
問 雨水対策についてあま市の計画はあるか。水田が減少する中で代替施設などの計画はどうか。
市長 どう考えるか。
建設産業部長 今年度から、木田地区の排水基本計画の見直しや、上萱津、

中萱津、下萱津地区の水路の現況地盤高、経路、排水量、出水期の水位などの調査をし、雨水流出解析を行う予定。公共用地を有効に活用し、貯留施設などの設置にも努めていく。
市長 道路敷地、学校敷地など公共用地を活用し、雨水対策をしていきたい。



市内の水田



八島 進 議員

問 ①本庁方式の必要性とメリット・デメリットは。②場所と必要面積は。③総費用は。④仮に100億円起債した場合、国からの交付金予想額は。

⑤完成年度は。⑥旧庁舎について。

企画財政部長 ①市の中心付近の本庁舎で全ての手続きができる利点はあるが、一部の住民には市役所まで遠くなる。市側の観点では、庁舎間の職員の移動がなくなり、職員の適正配置、定員適正化が図りやすく、人件費などの削減が図れる。旧庁舎の維持管理費や10年

後の大規模改修費を考えると、平成31年度までの活用期限である合併推進債の利用など、総合的に勘案し、市としては可能な限り本庁舎方式に移行したほうがメリットが多いと考える。②七宝町沖之島付近で約2万5千方メートルを基準としているが、市民の意見を聴きながら早期に定めた。③本体の整備および土地の買収で約85億円、その他造成、付帯工事などの

費用がかかる。④元金に利息を合わせて総額127億円となり、合併推進債を活用した場合は、40%、約51億円となる。⑤平成31年度中の事業完了を目指したい。⑥売却や他用途への変更など、今後、市の基本構想、基本計画の中で定めていく。

市長 本庁舎の建設、今後のおま市の考え方も含め、説明責任がある。ふれあいミーティングなどを通じて説明したい。



市役所本庁舎

新庁舎建設について

新あま市民病院の事業計画について



櫻井 信夫 議員

問 平成27年開院が迫ってきている。新たな中期経営計画は。市民病院事務局長 新病院の開院時期、診療体制、国における医療・社会保障制度、経営状況などを

踏まえながら策定を考えている。

問 来年スタートする新病院の新たな事業計画ができない状況で、平成22年度から27年度までの累計で、病院の運営に58億円強の税金（一般会計負担）が使われる見込みである。年間10億円弱は、受益と税負担が連動しているとは思えない。新病院での目標は。

早川副市長 公立病院は、地方公営企業として運営

されている以上、独立採算とすべきが原則だと思っている。ただ、公営企業である病院事業会計の一般会計からの負担金については、公営企業法の規定に基づいて、地域に根差した地域医療を継続する上で、経営基盤強化のため必要であると考えている。この基準に基づいて平成26年度予算では8億8千万弱を計上している。地域医療の確保のため、病院建設が進ん

でいる中で、経営改善、体制改善をして一般会計の負担の圧縮に努めることが必要である。

問 新あま市民病院は、尾張地区よりさらに広い範囲の中で、中堅病院として、どんな位置づけか。

市長 現在の市民病院は1・5次医療である。市民の安心、安全を守るために2次医療までもつていくのが目標である。

※1次医療（機関）、2次医療（機関）とは
法令等による定義はされていないが、
◇1次医療機関：外来診療によつて患者の医療を担当する医療機関。かかりつけ医、日常生活での軽度のけがや病気に対する医療を提供する診療所など。
◇2次医療機関：入院治療を必要とする重症患者の医療を担当する医療機関。地域の中核的病院、専門性のある外来や一般的な入院医療を行う病院。



新庁舎建設について



松下 昭憲 議員

問 今後、新市民病院や新学校給食センターの建設など、多額の借金がかさむが、本当に新庁舎を建設できるのか。
市長 あま市本庁舎整備に関する経過報告に記載

の内容を踏まえ、候補地の敷地条件を把握した上で、敷地利用の比較検討や面積の規模、機能、施設などの配置を取りまとめる基本構想、基本計画を策定する。その中で庁舎建設に必要な概算工事費用を算出した上で、庁舎建設を実現するための財源内訳を示したい。
あま市の財政も含めて、しっかりとした計画を立てていく。

問 地区計画で名鉄七宝
市長 地区計画、基本構

駅など沖之島周辺の整備も必要になるが。
市長 名鉄七宝駅を含めた市街化調整区域の地区計画の策定は、まちづくりの一環として、本庁舎の建設を目指すためにも必要である。それぞれの業務を着実に段階を経て、市民にもきちんと情報提供していく。
問 主たる事務所の移転には、議会の3分の2の同意が必要だが。
市長 地区計画、基本構

あま市の空き家対策について



柏原 功 議員

問 総務省の住宅・土地統計調査によると、2008年で誰も住んでいない空き家の数は、全国で757万戸、総戸数5759万戸の約13・1%に

上っている。今後増える傾向にあるが、あま市の現状と対応は。
総務部長 同じ統計調査であるが、市内に約3万4120棟ある住宅のうち、空き家が3090棟、率にして約9%となっている。現在は、6年ほど経過しているのので、空き家の数はもう少し増えていると思う。
総務部次長兼安全安心課

長 地区別では、七宝地区1010戸、率10・8%、美和地区820戸、率9・1%、甚目寺地区1260戸、率8・0%である。
総務部長 対応としては、現場を確認し、建物の危険性や周辺住民への影響を考慮して、所有者に適正管理をお願いしているのが現状である。
しかし、係争中や遺産分割協議中、個人情報保護の観点から、所有者を

特定することが困難なこともあり、適正管理をお願いできない事案もあり、苦慮しているのが現状である。
問 空き家に対する苦情の数と内容は。
総務部次長兼安全安心課長 苦情件数は、平成23年度は2件、平成24年度が3件、平成25年度は、15件で、内容は、立ち木の苦情がほとんどで、交通安全上で支障を来すとか、隣家に当たるといつ

た苦情である。





市民の健康増進について



林 正彦 議員

問 健康マイレージ、ウオーキングマップとは。
市民生活部長 生活習慣の改善や検診の受診など、健康づくりの取り組みを実践することでポイントを獲得でき、そのポイント

トを使い、県内の協力店でサービスが受けられる事業である。ウオーキングマップは市内で10コース程度選定し、作成する。
問 トレーニング室の利用状況は。設備、器具の状況、修繕計画は。
教育部長 平成25年度の利用者は前年に比べ、七宝総合体育館では189名、甚目寺総合体育館では585名増加した。1機器が修理の必要な状態である。

生涯学習課長 利用者にとって不便をかけないように対処していきたい。
問 施設利用者増に向けた取り組みは。
生涯学習課長 子供スポーツ教室、キッズエプロファンク教室、ストレッチ教室、シニア運動教室などの開催を予定している。
問 学校や病院の食事で有機野菜を取り入れることはできないか。
教育部長 現段階では難

しい。栽培時に農薬を使用しない小松菜、ホウレン草などを年に数回程度の使用を検討したい。
市民病院事務局長 今までと同様、よりよい食材を利用していく。
産業振興課長 学校や病院への有機農産物の提供について、今後も検討していきたい。

下萱津の藤、河川敷について

問 下萱津の藤を開催したところ、2日間だけではもったいない、寂しいという声をいただいた。今後も開催するのか。
教育部長 樹齢350年



石田 良雄 議員

とも言われ、愛知県天然記念物に指定されているが、平成12年の東海豪雨後、公開されていない。本年4月26日、27日の2日間、地元協力をいただき、あま市内外から86名の方に御来場いただいた。藤の木の生育状況、駐車場など、地元協力が得られれば、引き続き開催したい。
問 開催するのなら、水

辺の散策路から下萱津の藤まで案内板などを設置し、散策できるようにする考えは。
建設産業部長 案内板の設置など、庄内川河川事務所や愛知県と協議したい。
問 萱津橋の下の不法投棄と土地の無断占領は、外観を大変損なっているが、対策は。
建設産業部長 道路管理者、河川管理者に当たる愛知県に対策や指導をお

願いする。
問 ①開催日に地元の農産物を販売、PRして住民主体型にする考えは。
②河川敷を整備する考えは。
生涯学習課長 ①地元と相談し、検討していく。
土木課長 ②愛知県や清須市と検討していく。
問 ぜひ長い年月開催してほしいと願うが、市長の考えは。
市長 天然記念物である藤をPRし、温かく見

守っていきたい。



下萱津の藤

追跡

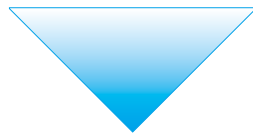
一般質問

その後
どうなった？

1年前に行われた一般質問の結果を報告します。

質問

巡回バスの運行予定時期は。



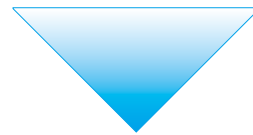
こうなった

平成27年3月の試行運行開始を目指し、準備を進めている。

(状況によっては前倒しでの試行運行開始もある)

質問

新庁舎の建設予定は。



こうなった

平成31年度の新庁舎完成を目標に、平成26年度に庁舎基本構想と基本計画を策定し、庁舎周辺整備も視野に入れた地区計画(七宝町沖之島地区)の策定を進める。



社会福祉協議会の福祉巡回バス(七宝地区を巡回)



市街化区域および現庁舎の配置状況

議案等審議結果一覧

【第1回臨時会（5月14日）】

議案番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
同意第1号	あま市副市長の選任について(早川安広氏)	付託省略		賛成:14 反対:10
同意第2号	あま市教育委員会委員の任命について(南谷恵美子氏)	付託省略		賛成:21 反対:3
同意第3号	あま市教育委員会委員の任命について(松永裕和氏)	付託省略		賛成:24 反対:0
同意第4号	あま市監査委員の選任について(横橋俊一氏)	付託省略		賛成:24 反対:0
同意第5号	あま市公平委員会委員の選任について(本田照清氏)	付託省略		賛成:24 反対:0

【6月定例会】

議案番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
議案第30号	あま市税条例等の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:21 反対:4
議案第31号	あま市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第32号	あま市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第33号	平成26年度あま市一般会計補正予算(第1号)	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:21 反対:4
		厚生	賛成多数 原案可決	
		建設産業	賛成多数 原案可決	
議案第34号	海部津島土地開発公社の解散について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
発議第1号	あま市議会議員の定数を定める条例について	付託省略		賛成:16 反対:9
発議第2号	横井敏夫議長の不信任決議について	付託省略		賛成:10 反対:14
発議第3号	手話言語法制定を求める意見書の提出について	付託省略		賛成:25 反対:0
発議第4号	T P P (環太平洋連携協定) 交渉に関する意見書の提出について	付託省略		賛成:23 反対:2
請願第1号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書	厚生	全員賛成 採 択	全員賛成 採 択
請願第2号	解釈改憲による集团的自衛権の行使容認に反対する意見書の提出を求める請願	総務文教	賛成多数 継続審査	賛成多数 継続審査
陳情第1号	政府へのT P P 交渉に関する意見書の提出を求める陳情書	建設産業	全員賛成 採 択	賛成多数 採 択

あま市議会

検索

<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>

○議会中継…本会議での一般質問の様子や最終日の採決の様を、ケーブルテレビのクローバーチャンネル（デジタル111チャンネル）にて放映します。放映は生中継とその日の午後7時から再放送しています。（インターネットでも録画配信を行っています。）

○会議録検索…本会議や委員会の会議録を公開しています。探したい言葉を入力すれば容易に検索することができます。

あなたも議会を傍聴しませんか？

今、あま市ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのであろう。あなたの身近なことも議会で論議されているのかもしれない。あま市役所甚目寺庁舎3階の議会事務局で、住所・氏名などを記入していただくだけで、誰でも傍聴できます。白熱した質問と答弁を、あなたもぜひ見に来られては…。

音声の間こえにくい方のために、赤外線補聴システムを設置しています。ご希望の方にはヘッドホン付き受信機をお貸します。当日、傍聴受付までお申し出ください。

※6月議会の傍聴者数(委員会含む) 延べ59人

次回の定例会は、9月4日(木)からの予定です。

インターネット議会中継を

あま市議会映像配信
AMA CITY COUNCIL WEBCAST

文字サイズ 中 標準 大

トップページ 会議名でさがす 議員名でさがす

録画中継
会議を録画してご覧いただけます

会議名でさがす
会議名の一語からさがします

議員名でさがす
議員名の一語からさがします

ことばでさがす
ことばを検索してさがします

検索

※画面録画は、30分間隔で行われます。

◎ご利用について

- この映像配信は、あま市議会の公式記録ではありません。
- 本システムは、JIS第一～第三水準の文字で構成されています。このため人名や地名など、会議録等と一部異なる場合があります。
- 録画中継は、会議の翌日から起算して、おおむね7日後(土曜、日曜及び国民の祝日等を除く)からご覧いただけます。
- 映像配信へのアクセスが集中した場合、映像が正しく表示されないことがあります。しばらくしてから再度のアクセスをお願いします。
- 配信されている映像の二次利用はできません。
- Microsoft Internet Explorer 環境において、映像が再生されない場合

◎お問い合わせ

あま市議会事務局
愛知県あま市甚目寺二伴田76番地
電話:052-444-3174
ファクス:052-444-4055
メールでのお問い合わせは専用フォームをご利用ください。

◎推奨環境

- Internet Explorer、Mozilla Firefox、Safari の最新版
- JavaScript、スタイルシート、Media Player Extension アドオンの有効化

インターネット議会中継のページ

<http://www.ama-city.stream.jfit.co.jp/>

ご利用ください

9月定例会予定

9月4日(木)	議案説明
9月11日(木)	一般質問 議案質疑
9月16日(火)	
9月17日(水)	
9月24日(水)	総務文教委員会
9月25日(木)	厚生委員会
9月26日(金)	建設産業委員会
10月1日(水)	討論・採決

※日程は変更となる場合があります。

編集後記

この議会だよりは、定例会ごと、年4回発行しており、編集委員が意見を持ち寄り、編集しています。

今定例会では、議案5件、請願・陳情など審議、議員による一般質問などがありました。

その中で議員発議による議員定数を定める条例が提案され、2議席減の24議席となり、次の選挙より施行されます。

昨今、議会がいろんな事で注目されています。あま市議会も開かれた議会になる様、議会だよりを発信いたします。(後藤)

■議会だより

編集特別委員会

委員長	石田 良雄
副委員長	柏原 功
委員	加藤 哲生
委員	藤井 定彦
委員	後藤 幸正
委員	横井 正秀
委員	櫻井 信夫
委員	伊藤 嘉規
委員	岩本 一三

発行/あま市議会 編集/議会だより編集特別委員会

〒490-1198 愛知県あま市甚目寺二伴田76番地 TEL 052-444-3174 FAX 052-444-4055